

Bookstart Newsletter



2019
春
No.64

ブックスタート・ニュースレター



香川県三木町

第1特集

市民ボランティアと連携すること

～香川県三木町の取り組みから～

「あなたの子育てを、地域みんな
で応援していますよ」そんなあなた
かなメッセージを、様々な分野や立
場の人たちが連携することによって
届けるブックスタート。

多くの自治体では、市民がボラン
ティアとして活動に関わり、同じ地
域に暮らす身近な存在として親子に接
しています。

行政とボランティアが協力して事
業を行う際、赤ちゃんと保護者の幸
せを願う気持ちは同じでも、立場や
考えの違いから、時には意見の相違
やそれぞれの思いがすれ違うことも
あるかもしれません。

では、ボランティアと連携する際、
行政は何を大切にするべきなので
しょうか。香川県三木町の取り組み
から考えます。

P.2

第2特集

P.4

専門家に聞く 赤ちゃんと「ことば」の獲得

第3特集

P.6

「てんやぐ絵本」をご存知ですか？

ケーススタディ
香川県三木町

大切なのは「上手く読む」より「気持ちに寄り添う」こと

香川県三木町では、3か月児健診でブックスタート事業を実施しています。現在、15名のボランティアが活動中です。開始当初にメンバーを募集したところ、若い保護者から孫のいる方まで、幅広い世代が集まりました。主婦や、保育園・幼稚園での勤務経験がある方など、それぞれが持つ知識や経験も多様です。

しかし、事業の担当課である生涯学習課と、連携するメタ・ライブラリー（情報資料室）が、ボランティアを募集するにあたって考えたのは、素人、でいいということ。事業の目的は、保護者が思い思いに絵本を開き、赤ちゃんと自由にその時間を楽しむきっかけづくりです。だからこそボランティアは、絵本を上手く読むことよりも、保護者や赤ちゃんの気持ちに寄り添いながら、楽しい時間を過ごしてもらえよう心を配れることの方が、何より大切なのだという考えを明確にしていたのです。

目的を共有した上で一人ひとりの個性を活かす

生涯学習課の担当者は、ブックスタートの目的を関係者全員で共有し、対等な関係性を築くことが、事業の土台になると考えました。その上で、ボランティア一人ひとりが個性を活かしながら楽しく活動ができるよう、体制を整えました。

【目的を共有するための体制づくり】

◆事業の理念を定期的に確認
毎年行っている研修会では、事業の目的などを繰り返し確認し、ボランティアの意識統一を図ります。新しいメンバーを募集する際にも、事業の理念や運営方針を説明し、それに同意した上で参加してもらうようにしています。

◆活動終了後のミーティングで全員が発言

毎回のブックスタートが終わると、その日の様子や気づいたことを報告し合う時間を設けます。その場では、ボランティア全員が発言できるよう、担当者が気を配ります。積極的に意

ボランティアのアイデアで事業が充実

関わる人みんなが、同じ目的を持ちながら活動できる体制を築いたことで、ボランティアからも積極的に、事業充実のためのアイデアが生まれるようになりました。

その一つが、ラッコのバッグにつける、手作り名札のプレゼントです。牛乳パックをチューリップやウサギなど、いろいろな形に切り取り、布を貼って、紐をつけます。そこに名前を書いたシールを貼れば、赤ちゃんそれぞれの名札の出来上がり。かわいらしい名札のついたバッグをプレゼントされて、保護者からも思わず笑顔がこぼれます。

この名札は、受け取ったバッグの見分けがつくようにと、ボランティアが考案したものです。市民の視点



バッグ一つずつに名札をつけてプレゼントします

から関わるボランティアのアイデアは、親子にも大変喜ばれています。

◆立場を超えて認め合える関係性を
三木町のブックスタート会場では、あちらこちらから笑い声や和やかな会話、ゆったりとしたわらわら音が聞かれ、あたたかな時間が流れています。いつでもここが親子にとって、ホッとできるやさしい空間であるように……。担当者もボランティアもそんな思いを共に持ち、活動を続けてきました。

ボランティアの皆さんは口をそろえて言います。
「メンバーはそれぞれ個性的だけれど、それを認め合いながら、私もあんな風にしてみたいな」と実践に活かしている。そんなゆるやかな関係性が心地いいし、自分自身も人として成長できます」
「私たちが気持ちよく活動できるのも、担当者が常に芯の通った事業運営をしてくれるお陰です。だからみんな、安心してついていきます」
「ブックスタートでは、親子の未来につながるちょっとしたお手伝いができます。この活動に関わること、私たちの希望でもあるのです」

見を言う人からだけでなく、みんなの話を平等に聞くことで、一人ひとりがこの事業に必要な存在であることを具体的に示しているのです。また、最後には必ず「今日も来てくれてありがとう」という感謝の気持ちを伝えるようにしています。



ミーティングの様子

◆ペアで親子に接する

ブックスタートは、ボランティアが二人一組のペアになって行います。一人が保護者に事業の趣旨を説明している間に、もう一人が赤ちゃんをあやすなど、協力しながら実施。ペアになることで、集中して保護者に話を聞いてもらえるだけでなく、対応に迷うことがあっても、お互いにフォローしながら親子と接するこ



わらべうたでふれあい遊びも

とができます。また、ペアは毎回様々な組み合わせになるよう配慮し、全員がフラットな関係のもと、仲良くなれるように工夫しています。

◆読む絵本やあやし方は信頼して任せる
プレゼントする絵本は決まっていますが、赤ちゃんにその場で読みかせる絵本は、ボランティアが自由に選ぶことにしています。また赤ちゃんをあやす際にも、手作りのおもちゃを使ったり、わらべうたを歌うなど、それぞれになじみのあることをします。自分の得意な方法で、ボランティア自身がやりがいを感じながら、楽しく赤ちゃんと接することができます。そうした姿は、赤ちゃんとのコミュニケーションの取り方を、自然な形で保護者に伝えることにもつながっているようです。

VOICE



教育委員会
生涯学習課
辻 優子 さん

やりがいを持って活動できるようにサポートしたい

どんな事業でも、一番大切なものは「人」の力だと思っています。特にブックスタートでは、ボランティアの存在は欠かせません。自らの意思で、自らの時間を削ってでもこの事業に関わりたいという人が、このまちに多くいてくださることは素晴らしいことです。そして、縁あって関わっていただいた人々と、思いを一つにしてこれまで事業を続けてこられたのは、とてもありがたいことでもあります。

すべての人には誰かの役に立ちたいという願いがある、と私は思っています。担当者の役目は、関わるすべての人がやりがいを持って活動できるようにサポートすること。これからも、ボランティアやメタ・ライブラリーとの関係を大切にしながら、親子の幸せのためにできることを、みんなで考えていきたいと思います。

三木町では、ボランティアどうし、そしてボランティアと行政がお互いの個性を認め合い、信頼関係を築いていました。それは、事業の目的を共有し、全員が同じ方向を目指して活動しているからこそ生まれたのではないのでしょうか。

ブックスタートに関わる人々の思いはこれからも、立場や分野の違いを超えて、ゆるやかにつながり合っていくのだと感じました。



三木町のみなさん

専門家に聞く

赤ちゃんの「ことば」の獲得

赤ちゃんは「ことば」をどうやって覚えるのでしょうか？ そして、「ことば」という視点から見た時、赤ちゃんにとって絵本はどのような意味をもつのでしょうか？ 赤ちゃんの言語獲得について研究をされている、今井むつみさんにお話をうかがいました。

お話をうかがった方
慶應義塾大学 教授
環境情報学部 今井 むつみ さん



専門は認知心理学、発達心理学、言語心理学。著書に「ことばの発達の謎を解く」（ちくまプリマ―新書）「ことばと思考」（岩波新書）など。

Q

赤ちゃんは、いつ頃からことばを覚えていくのですか？

音のかたまりとして「単語」を発見
赤ちゃんは、お母さんのおなかの中にいる時から、ことばの学習をしています。でも、おなかの中では細かい音は聞き取れないので、学んでいるのは、リズムやイントネーションです。そして、生まれると早速、音の分析を始めます。生後4か月くらいで母語の母音、6か月くらいで子音の音の特徴を見つけて

Q

絵本を使って、ことばを教えられるのですか？

大人ができることは、ことばを「教える」ことではなく、「発見」の手助けをすること
「ことば」の意味を、大人が赤ちゃんに教えることはできません。例えば、「ウサギは、耳の長い動物だよ」と教えても、赤ちゃんは「耳」「長い」「動物」ということばを知りません。他のことばを使っている言い換えても、「ウサギ」の意味は通じないのです。つまり、赤ちゃんは自分でことばの意味を発見しな

Q

赤ちゃんの様子に合わせて「やりとり」を楽しんで



「心の辞書」のイメージ

いきます。例えば、英語では「I」と「I」を違う音として区別しますが、日本語では区別しませんよね。すると、生まれた頃は「I」と「I」を聞き分けていた赤ちゃんも、日本語の音を学んでいくうちに、「I」と「I」を同じ音とみなすようになっていくのです。こうした音の分析や、おなかの中で学んだりリズム・イントネーションなどをもとに、人の声を聞いて、音のかたまりとしての「単語」を発見していきます。

最初は名詞。動詞・形容詞はそのあとで

10か月を過ぎた頃には単語がかなりストックされ、次第にその意味を考えていくようになります。はじめに学んでいくのはモノの名前（名詞）です。赤ちゃんは知らない言葉を聞いたら、それはモノの名前だと思のです。さらに、名詞とは違う形態のことばがあることに気づき、動作のことば（動詞）や様子のことば（形容詞）を学んでいきます。

一方的な語りかけではあまり意味がなく、対面してやりとりすることが必要だということです。

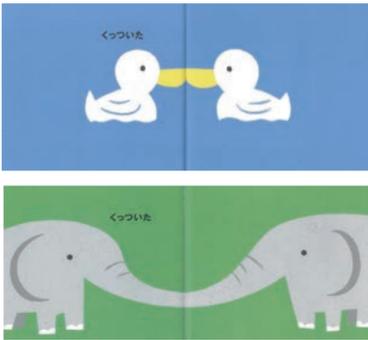
絵本を読む時にも、赤ちゃんの表情を見て、その様子に合わせながら、繰り返し読んだり、ゆつくり読んだりすること。気持ちを通じ合わせたやりとりが、何よりも大切です。その時、文字を覚えさせようという下心は禁物です。楽しいやりとりだからこそ、赤ちゃんはもつことばを覚えたいと感ずるのです。

Q

「ことば」の視点から見た赤ちゃん絵本の意味は？

「繰り返し」が動詞の理解を助ける
動詞は赤ちゃんにとって、抽象的で捉えにくいことばですが、赤ちゃん絵本に多い「繰り返し」は、動詞を理解する手がかりになります。

「くっついた」は、あひるやぞうが次々にくっつく絵本ですが、一つの例だけでは、赤ちゃんは「くっつく」という意味は分かりません。例がたくさんあることで「くっつく」というのは、こういうことね」と自分で発見することができるのです。



「くっついた」作・絵／三浦太郎 こだま社

オノマトペはミニモデル

また、赤ちゃん絵本にはオノマトペが多いです。以前、11か月児を対象に、脳の反応を見る実験をしました。丸みを帯びた形とトゲトゲした形に、「もま」「きび」という架空のことばを、組み合わせを変えながら繰り返し提示するというものです。すると、大人と同じように、赤ちゃんも丸い方を「もま」、トゲトゲを「きび」と感じていることがわかりました。ほとんどことばを知らない赤ちゃんでも、人の声の何かを意味していること、しかも音の印象に合うものが単語の指し示す対象であることが分かっていると考えられます。



「もま」「きび」

「ポーンする」のように動詞として使ってみることは、ことばを理解していく上で意味のあることです。

また、オノマトペは文法を学習する手がかりにもなります。例えば「コロコロ」というのは繰り返している動きですが、「コロッ」なら一回だけ。実はオノマトペは体系的なんです。

さらに、擬音語は実際の音をそのまま表現している訳でなく、あくまでも日本語の音韻体系の中で作られています。つまり、オノマトペの使い方には、日本語固有の音の体系や文法の決まりのミニモデルが隠れています。赤ちゃんがことばの体系を見つけていく上で、とてもよい素材なのです。

くつけないということ。そして、赤ちゃんは発見を重ねて「心の辞書」をつくっていきます。紙の辞書とは異なり、心の辞書には音、意味、文法的な情報だけでなく、感覚や感情なども統合されています。ことばの意味の情報は脳全体に分散して記憶されています。ことばを理解するということは、脳全体を使って非常に複雑な情報を処理し、統合することに他なりません。だから、単にことばをそれが指し示すモノや絵に結びつけることで、教えられるようなものではないのです。

ですから、まわりの大人ができることは、ことばを「教える」ことではなく、赤ちゃんが自分でことばの意味を「発見」するための手助けなのです。

9か月の赤ちゃんに母語以外の言語を聞かせ、どれだけ他言語の音のカテゴリーを学習できるかを調べた有名なアメリカの研究(*)があります。中国語を母語とする研究者が、赤ちゃんと一緒に遊びながら中国語で絵本を読みかかせた場合と、テレビを通して読みかかせをした場合を比較したところ、前者の方が中国語の聞き分けができるという結果が得られました。つまり、赤ちゃんがことばを覚えるためには、

「ことばの力」と「社会性」

今井先生から

二つの意味で、「ことばの力」は「社会性」に関わっています。一つには、気持ちのことばをたくさん知っていることによって、人の気持ちをより細やかに感じ取れるということ。例えば、「むかつく」ということばしか知らなければ、嫌なことはすべて「むかつく」になってしまうが、嫌な気持ちの中には、怒りや悲しみ、嫉妬など様々な感情がある訳です。その違いが分かるということは、人との関係性において非常に重要です。

二つ目は、ことばの力というのは、文脈からの確かな意味をどれだけ推察できるかという「思考力」と深くつながっています。ことばを覚えることによって思考力は深まるし、思考力が深まればさらに言葉が増えていく。ことばと思考力は、パラレルに成長していく関係にあるのです。人の気持ちを推察するということは、非常に難しいことですが、その人の過去の言動から気持ちを考え抜いていくことができる思考力は、ことばの力と深く結びついているのです。

そうしたことばの獲得において、赤ちゃんへのまわりの大人の語りかけは大きな意味があります。絵本は、赤ちゃんといろいろなことをお話しするきっかけや材料として、とても大事な役割を果たすのです。絵本はそうした時の一助になるのではないのでしょうか。

* Early Language Learning and Literacy: Neuroscience Implications for Education (Patricia K. Kuhl), Mind, Brain, and Education Volumes, September 2011)

見える人と見えない人が一緒に楽しめる

てんやく絵本をご存知ですか？

てんやく絵本って？

見える人と見えない人が、一緒に楽しめるように工夫した絵本です。市販の絵本に、本文の点訳や絵の形を取った塩化ビニール製の透明なシートを貼り付けるほか、絵の説明文を点字で添えることもあります。

NPO ブックスタートでは、視覚に障がいのある方のニーズに合わせて対応するために、ブックスタートで手渡される絵本を「てんやく絵本」に交換する体制を整え、これまでに自治体を通じて2家族のもとへお届けしました。

てんやく絵本は、特定非営利活動法人てんやく絵本ふれあい文庫が製作しています。

*ブックスタート事業用のてんやく絵本の製作に関しては、著作権者への確認を行っています。



てんやく絵本を読みきかせる視覚に障がいのあるお母さん

「がたん ごんがたん ごん」作 / 安西水丸 福音館書店

ページの構成例

『かにこちゃん』
作 / 岸田衿子 絵 / 堀内誠一
くもん出版



きいろいそら (絵の説明文)

太陽の光や海の波など、触って情景がわかるように、細部まで工夫を施してシートが貼られています。

おひさま

しろくひかっているうみ

おはよう おひさま
おはよう かにこちゃん

おはよう おひさま
おはよう かにこちゃん (本文の点訳)

すなはま

あな

かにこちゃん

かにこちゃんの特徴であるほっぺにも、形を取ったシートが貼られています。

一緒に絵本を見る人にも本文が見えるよう、点字を読んでいる人の指が文字にかからないように一段下げて、点字シートを貼ります。

VOICE

てんやく絵本ふれあい文庫
代表 岩田 美津子 さん



岩田さん(写真中央)とボランティアの方々

見えない保護者にも子どもとの楽しい絵本の時間を

私は全盲ですが、「我が子に絵本を読んでやりたい」という思いから、てんやく絵本を作り始めました。

元々、私にとっては、市販の絵本はただのツルツルの紙でしかなかったのですが、ある時、1歳を過ぎた息子が私の手を取り、絵本のページを触らせて「これは？これは？」と尋ねてきたのです。その時、子どもにとって絵本とは、お母さんに読んで欲しいものなのだということを知りました。

絵本は、読んでやる人、めくってやる人が必要です。お母さんに語りかけてもらう時間は、子どもにとって、とても嬉しい時間なのです。

見えない保護者も、触って絵本の絵や文字がわかれば、子どもが「〇〇だね」と言った時、「そうだね」と答えることができ、絵本の楽しさを共有できます。

てんやく絵本によって、見えない保護者も見える保護者と同じように、子どもとの絵本の時間を楽しんで欲しいと願っています。

*てんやく絵本ふれあい文庫
てんやく絵本を製作し、全国の視覚に障がいのある人に、無料で貸し出しているNPO法人。

てんやく絵本ができるまで

① てんやくボランティアへの絵本の発送

全国各地にいる約100名のてんやくボランティアに、てんやく前の絵本を送ります。ボランティアは、1年以上の練習を重ねて、てんやくのやり方を学んだ方たちです。

② 絵本のてんやく

本文を点訳したり、絵の形がわかるシートを貼ったり、絵の説明文を考えて点字にしたり……繊細で根気のいる作業を重ねて、てんやくを進めます。

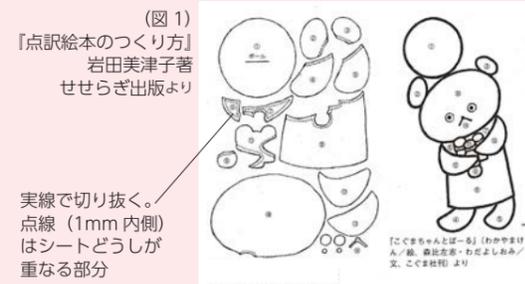
◆ 絵の形の取り方

1. トレーシングペーパーに絵を写す
2. 1をシートに重ね、インクが出なくなったボールペンなどで写し取る(写真)
3. 絵の形にシートを切る



◆ 絵のシートの貼り方

例えば一本の木であれば、1枚のシートで形を取って貼ります。絵が重なり合っている時は、それぞれの形を取り、端を重ねて貼ります。(図1)



◆ 絵の説明文の作成

子どもが見ている絵を、見えない保護者が文章で想像し、子どもとの会話をスムーズにするための手がかりとして、説明文を書き添えます。

③ できあがったてんやく絵本のチェック



チェック作業の様子

てんやくが終わり、ふれあい文庫に送られてきた絵本を、見えるスタッフと見えないスタッフが校正します。修正の必要があればシールを剥がして手直しをします。

完成!! 1冊の製作に2~3か月かかります



「びよーん」作・絵 / まつおかたつひで ポプラ社
「もこもこもこ」作 / 谷川俊太郎 絵 / 元永定正 文研出版

*NPOブックスタートでは、ブックスタート事業を行う自治体に、てんやく絵本(見本)の貸し出しを行っています。詳しくはお問い合わせください。

VOICE

東京都杉並区のお母さん

てんやく絵本を受け取り とても嬉しかったです

ブックスタートで、初めててんやく絵本を手に取りました。これまでは、家族などに文章を読んでもらい、私の手を動かしてもらって、何がどこに描かれているか説明を聞いたりしましたが、想像しにくいこともありました。

しかしてんやく絵本は、点字が貼ってあるので、自分ですぐに子どもに読んでやることができました。絵にもシートが貼ってあり、例えば、受け取った『ととけっこう よがあげた』では、ひよこの位置や大きさなどが触ればわかるので、絵のイメージがつきやすく、楽しく読めました。

子どもに「絵本を読むよ」と言うと、喜んで私のところに来てくれます。見えないと、お絵描きや公園遊びなど、1対1で子どもと遊ぶのはなかなか難しいのですが、絵本は、見えなくても、子どもと向き合っ、対等に遊ぶことができます。

絵本の時間は、子どもとコミュニケーションができる、大切な時間になっています。



【ととけっこう よがあげた】
案/こばやしえみこ 絵/ましませつこ こぐま社

てんやくボランティアに聞きました！

てんやくの際、大切にしていることは？

作者の意図を壊さないことと、見えない読者にわかりやすく伝えることです。そのため、絵本を何度も読んで理解を深め、限られたスペースにどの位の説明文を入れるか、シートをどのように配置するかなど、十分検討してから作業を始めます。

絵の「色」はどのようにてんやくするのですか？

色の説明があれば、親子のやり取りも楽しいのですが、描かれている色は様々です。例えば、明らかに「赤」であれば「赤」と入れますが、そうでない場合は、他のスタッフと相談して、「赤っぽい色」としたり、色を入れないこともあります。

赤ちゃん絵本のてんやくは簡単ですか？

赤ちゃん絵本は文章が少ない分、絵に関する「情報」が必要です。でも説明文を入れ過ぎたり、シートで補足し過ぎても面白くなりませんし、少なすぎてもわかりません。迷いながらやっていますが、その過程で絵本の奥深い魅力に気づくことも多いです。

文庫のてんやく絵本とブックスタート用で違いはありますか？

文庫のてんやく絵本は貸し出しなので、戻ってきた時に修正ができます。でもブックスタート用の絵本は親子の手元に残ります。できるだけ良い状態で渡して欲しいので、製作の過程で絵本を傷めないように、修正が極力発生しないように配慮しています。

研修会のご案内

お申し込みは当法人ウェブサイトまたはお電話で

新刊

ブックスタート研修会 in 鹿児島

日時：6月4日(火) 10:30 - 16:00
会場：かごしま県民交流センター
対象：自治体関係者やボランティアなど
定員：80名(事前申込制) 参加無料
後援：鹿児島県・鹿児島県教育委員会

ブックスタート研修会 in 広島

日時：6月25日(火) 10:30 - 16:00
会場：合人社ウエンディひと・まちプラザ
対象：自治体関係者やボランティアなど
定員：120名(事前申込制) 参加無料
後援：広島県・広島県教育委員会

～絵本作家スギヤマカナヨさんの講演もあります～

「子ども・社会を考える」講演会シリーズ Vol.4
『すべての赤ちゃんに絵本を』

ブックスタート発案者
ウエンディ・クーリング

本体 600円 + 税 (送料込み)

2016年7月にクーリングさんを初めて日本にお招きし、東京で開催した講演会の記録集です。



ことのは

スタッフが出合った言葉

私が「やけたかな」と言うと、「まあまだ」とすぐに娘の言葉が返ってくる。ただそれだけのことだけど、心が通じ合い、母も子どもなんだか幸せな気持ちになったものである。

ホットケーキを焼くたびに、絵本『しろくまちゃんのほっとけーき』に出てくる言葉のやりとりをお子さんと楽しんだという著者。「絵本をとおして同じ世界や言葉を「共有」していると、打てば響くような「共感」の世界が広がっていく。その瞬間のささやかな幸せ感が、子育てをずいぶん楽なものにしてくれる」とも。

『絵本で出会った子どもたち～心が育つ瞬間をみつめて～』(足立茂美著・今井出版)より。